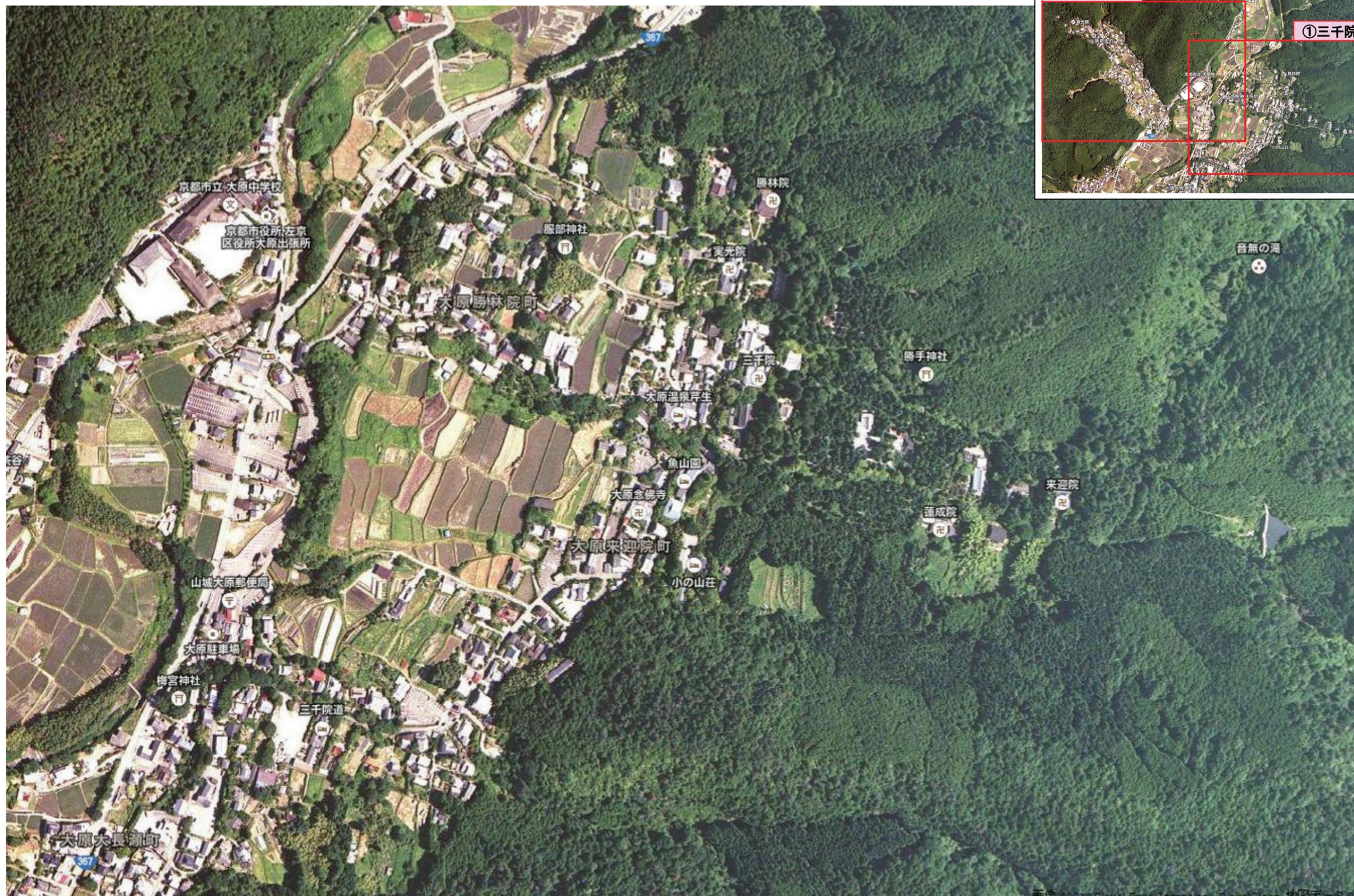
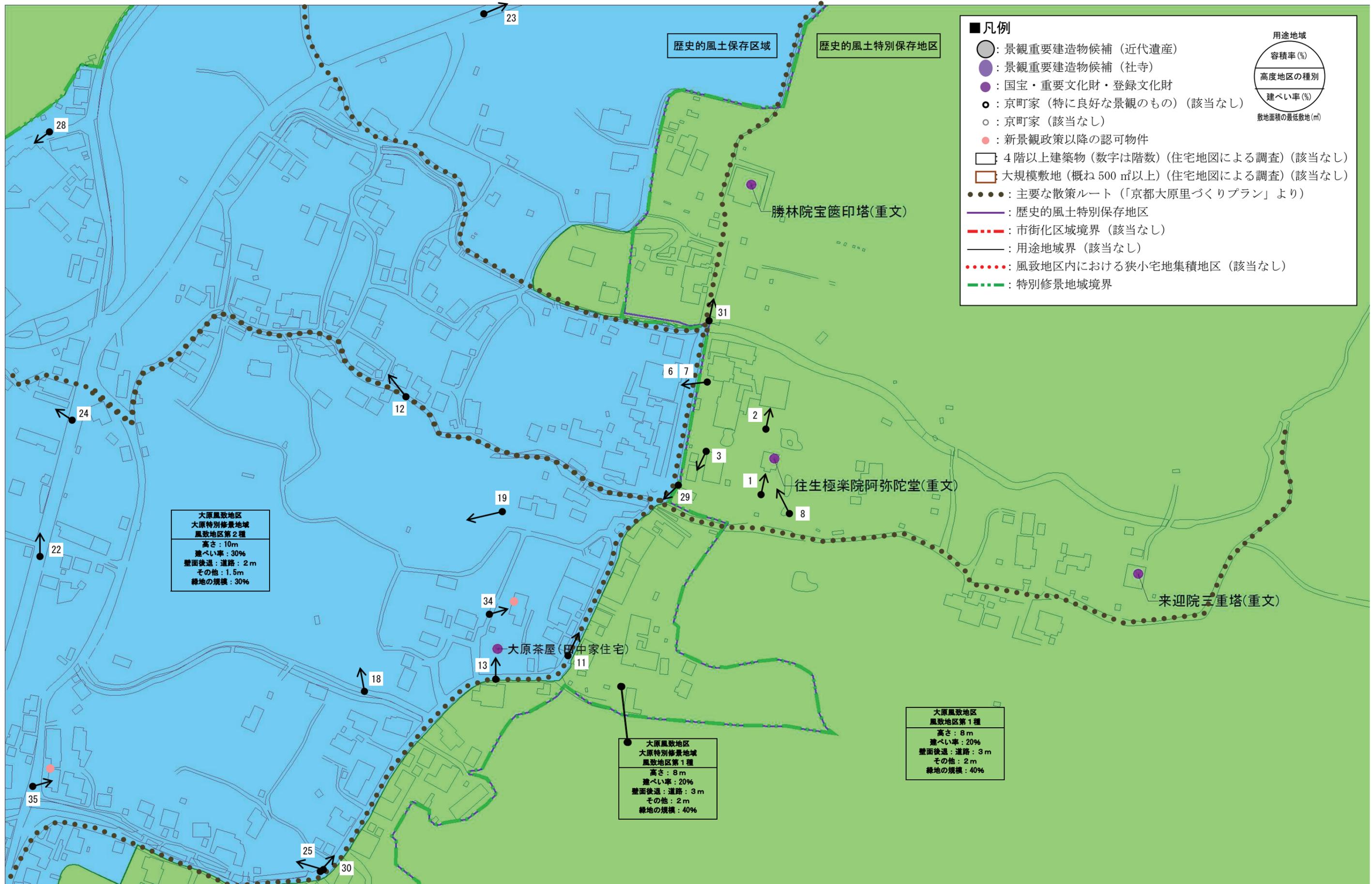


資料3-3 三千院，寂光院エリア

(1) 航空写真 (①三千院周辺)



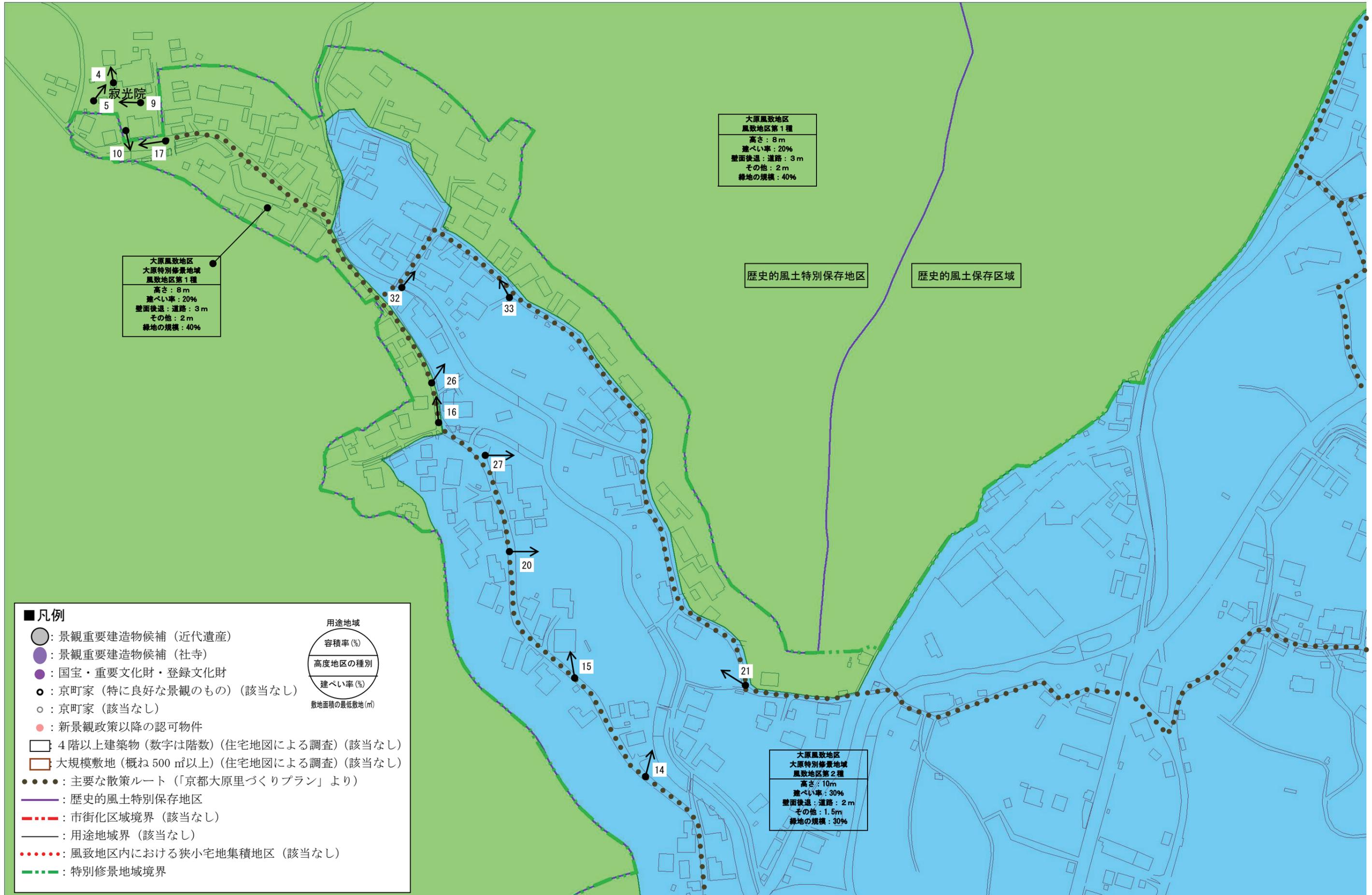
(2) 美観地区・風致地区等の指定状況, 写真撮影位置図 (①三千院周辺)



(3) 航空写真 (②寂光院周辺)



(4) 美観地区・風致地区等の指定状況, 写真撮影位置図 (②寂光院周辺)



(5) 三千院, 寂光院とその周辺の状況

■三千院, 寂光院敷地内からの眺望

- ・寂光院は山寺であり, 境内林及び取り囲む樹木によって敷地内から周囲の町並みを眺望することはできません (写真10)。
- ・三千院の境内には多くの樹木があり, ほとんどの境内地では周囲の町並みを眺望することができませんが, 木々の隙間から遠方の屋根並みや (写真6), 電柱やアンテナが見える場所が一部あります (写真7)。



写真8 三千院敷地内からの眺望



写真10 寂光院敷地内からの眺望



写真6 三千院敷地内からの眺望(遠方の屋根並み)



写真7 三千院敷地内からの眺望(電柱, アンテナ)

■三千院, 寂光院参道及び周辺の町並み

- ・昔ながらの自然石積の擁壁や伝統的古民家が数多く残り, 低層の町並みが周囲の山々に溶け込んでいます (写真14)。
- ・生垣の緑もきれいに手入れされている家が多く, 訪れた人へのもてなしの雰囲気が感じられます (写真15)。
- ・観光地であるため参道沿いにはお土産屋が立ち並んでおり, 多くは前面道路に沿って建てられています (写真12, 写真17)。



写真14 自然石積の擁壁と低層の町並み



写真15 伝統的民家と手入れされた生垣



写真12 参道沿いのお土産屋(三千院)



写真17 参道沿いのお土産屋(寂光院)

■地域主体の景観継承の取り組み（農地の保全，古民家の活用）

- ・地域内には，NPO法人京都大原里づくり協会が野菜園などとして管理・活用している農地があります（写真21）。
- ・また，大原の風景を一望する見晴らし場を整備し，農地の保全に努めています。（写真19）休耕田を利用したコスモス畑も見られます（写真21）。
- ・大原茶屋（田中家住宅）は，同志社大学が農縁館として活用しており，農地の保全・活用も含めて地域外の主体との連携が行われています（写真13）。
- ・農業振興の一環として，農産物直売所機能を有する「里の駅大原」を住民出資による会社が運営しています（写真 京都大原里づくり協会ホームページより）。
- ・バスターミナルの景観整備事業にも取り組んでいます（写真24）。
- ・地域ぐるみの次世代育成の取り組みとして，コミュニティスクール型小中一貫教育校「京都大原学院」を開設しています（写真28）。



写真20 地域で管理している野菜園



写真19 見晴らし場から望む美しい農村風景



写真21 休耕田を利用したコスモス畑



写真13 大原茶屋（田中家住宅）



写真 京都大原里づくり協会ホームページより



写真24 バスターミナルの景観整備



写真28 小中一貫教育校「京都大原学院」

■ 景観の変容の可能性（空き家）

・人口減少，高齢化などを背景に，住宅やお土産屋などが空き家化しています。



空き家と思われる建物



空き家と思われる建物

■ 観光駐車場

・国道 367 号沿いや参道の周辺に観光客用の駐車場が介在しています。



写真 22 国道 367 号沿いの駐車場



写真 25 参道沿いの駐車場



写真 26 参道沿いの駐車場

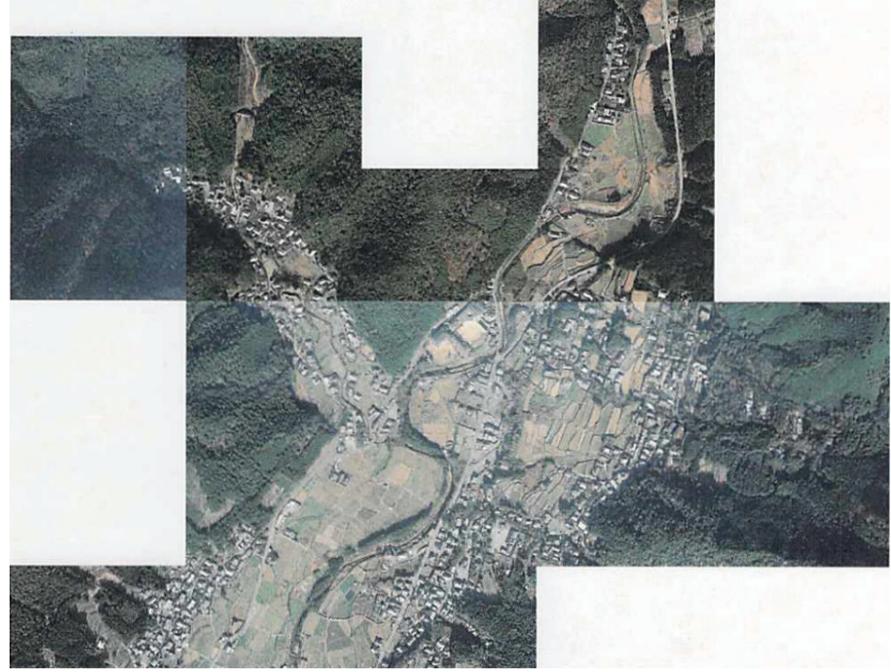
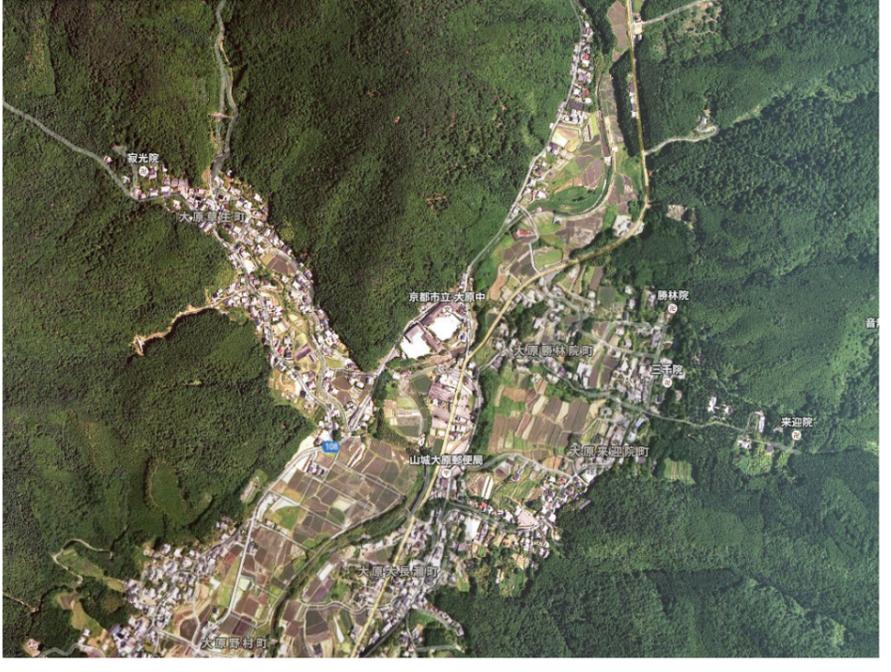


写真 27 参道沿いの駐車場

歴史的景観資産の状況(三千院)			歴史的景観資産の状況(寂光院)		三千院敷地内からの眺望	
写真1 	写真2 	写真3 	写真4 	写真5 	写真6 	写真7 
三千院敷地内からの眺望		寂光院敷地内からの眺望		参道の町並み(三千院)		参道の町並み(寂光院)
写真8 	写真9 	写真10 	写真11 	写真12 	写真13 	写真14 
参道の町並み(寂光院)			周辺の農地(三千院)		周辺の農地(寂光院)	
写真15 	写真16 	写真17 	写真18 	写真19 	写真20 	写真21 
国道367号沿道の景観			駐車場(三千院周辺)	駐車場(寂光院周辺)	京都大原学院	
写真22 	写真23 	写真24 	写真25 	写真26 	写真27 	写真28 
散策ルート(三千院)			散策ルート(寂光院)		最近の建築物	
写真29 	写真30 	写真31 	写真32 	写真33 	写真34 	写真35 

(6) 三千院, 寂光寺周辺の航空写真の変遷

① 航空写真

昭和 46 年航空写真	平成 11 年航空写真	平成 23 年航空写真
 	 	 

(7) 三千院, 寂光院周辺の景観形成の方針

大原風致地区

・山の緑を背景とした山すそに並ぶ美しい集落

大原は、京都の奥座敷と呼ぶにふさわしい、急峻な山地に囲まれた起伏に富む小盆地であり、「平家物語」に連なる歴史ロマンや品格の高い社寺等の文化財、山里の農家等と一体となった四季折々の豊かな自然の風趣にあふれている地域でもある。平地から眺めた山の緑を背景とした山すそに並ぶ集落が美しく、特に盆地中央からの東西の眺めが良い。このため、これらの風致の維持を図る。

・三千院や寂光院周辺の散策道の沿道景観と田園風景

北部地区は、山並みや変化のある入り組んだ地形に重なり合いながら広がっている自然景観を背景とし、三千院参道や寂光院参道のみやげもの店・飲食店が沿道景観を形成し、南部地区はゆったりした山あいの里と呼ぶにふさわしい田園景観が広がる眺望景観を形成している。

大原の古くからの民家には、自然石積みの擁壁とそれぞれに工夫されよく手入れされた植栽が目立ち、散策道を楽しみに満ちたものとしているため、こうした風致を維持するとともに、山地部については、山里と一体となった山林風致の保全に配慮する。

【大原特別修景地域】

大原では、歴史ある田園集落の風情を保全するため、建築物は、原則として日本瓦ぶき真壁意匠とする。また、屋根形状や壁の色彩等にきめ細やかな配慮を行い、道路側には生垣、植栽帯等を設ける。周辺部の石積畦畔が残る美しい棚田風景の保全を図る。

三千院及び寂光院参道沿いでは、沿道の景観を保全するため、建築物は、原則として日本瓦ぶきで真壁意匠の切妻平入り形式又は入母屋形式とする。既存の石積擁壁はその保全が重要であり、新設擁壁には、原則として自然石を使用する。駐車場は外周に、植栽、和風塀を設ける。